

令和6年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

保 育 原 理

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル（HB～B）で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文のうち、「児童福祉法」の一部として、(a)～(d)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 「児童福祉法」第18条の4には、「この法律で、保育士とは、第18条の18第1項の登録を受け、保育士の名称を用いて、(a) 専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する(b) 保育に関する援助を行うことを業とする者をいう。」とある。
- ・ 「児童福祉法」第48条の4には、「保育所に勤務する保育士は、(c) 幼児等の保育に関する相談に応じ、及び助言を行うために必要な(d) 知識及び技能の修得、維持に努めなければならない。」とある。

(組み合わせ)

| | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問2 次の文は、「児童福祉法」第21条の一部である。(A)～(C)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

市町村は、子育て支援事業に関し必要な情報の収集及び提供を行うとともに、保護者から(A)があつたときは、当該保護者の希望、その児童の(B)の状況、当該児童に必要な支援の内容その他の事情を勘案し、当該保護者が最も適切な子育て支援事業の利用ができるよう、相談に応じ、必要な(C)を行うものとする。

(組み合わせ)

| | A | B | C |
|---|----|----|------|
| 1 | 申請 | 発達 | 助言 |
| 2 | 申請 | 養育 | サービス |
| 3 | 求め | 養育 | 助言 |
| 4 | 求め | 発達 | サービス |
| 5 | 要望 | 発達 | サービス |

問3 次の文のうち、「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」第1章「総則」第2条の一部として、(a)～(d)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

この法律において「子育て支援事業」とは、地域の子どもの養育に関する各般の問題につき保護者からの相談に応じ必要な情報の提供及び助言を行う事業、保護者の(a) 就労その他の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった地域の子どもに対する保育を行う事業、地域の子どもの(b) 養育に関する援助を受けることを希望する保護者と当該援助を行うことを希望する民間の団体若しくは個人との連絡及び調整を行う事業又は地域の子どもの養育に関する援助を行う民間の団体若しくは個人に対する必要な(c) 情報の提供及び助言を行う事業であって(d) 主務省令で定めるものをいう。

(組み合わせ)

| | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × | × |

問4 次の文は、「こども基本法」第3条の一部である。(A) ~ (D) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

2 全てのこどもについて、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され(A) されること、その健やかな成長及び(B) 並びにその自立が図られることその他の福祉に係る権利が等しく保障されるとともに、(C) の精神にのっとり教育を受ける機会が等しく与えられること。

(中略)

5 こどもの養育については、家庭を基本として行われ、父母その他の保護者が第一義的責任を有するとの認識の下、これらの者に対してこどもの養育に関し十分な(D) を行うとともに、家庭での養育が困難なこどもにはできる限り家庭と同様の養育環境を確保することにより、こどもが心身ともに健やかに育成されるようにすること。

【語群】

| | | |
|------|---------|---------|
| ア 保育 | イ 学校教育法 | ウ 児童福祉法 |
| エ 保護 | オ 発達 | カ 教育基本法 |
| キ 支援 | ク 環境 | ケ 子育て |

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | オ | イ | キ |
| 2 | ア | オ | カ | キ |
| 3 | ア | ク | イ | ケ |
| 4 | エ | オ | カ | キ |
| 5 | エ | ク | ウ | ケ |

問5 次の文のうち、「保育所保育指針」第1章「総則」1「保育所保育に関する基本原則」の一部として(a)～(d)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 保育所は、その目的を達成するために、保育に関する(a) 専門性を有する保育士が、家庭との緊密な連携の下に、(b) 子どもの人権や発達過程を踏まえ、保育所における環境を通して、(c) 保育及び教育を一体的に行うことを特性としている。
- ・ 保育所は、入所する子どもを保育するとともに、家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、入所する子どもの保護者に対する支援及び(d) 地域の子育て家庭に対する支援等を行う役割を担うものである。

(組み合わせ)

| | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問6 次の文のうち、「保育所保育指針」第4章「子育て支援」の一部として、(a)～(d)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

地域の子どもに対する一時預かり事業などの活動を行う際には、一人一人の子どもの(a) 発達の状態などを考慮するとともに、日常の保育との関連に配慮するなど、(b) 個別に活動を展開できるようにすること。

(c) 市町村の支援を得て、地域の関係機関等との積極的な(d) 情報交換を図るとともに、子育て支援に関する地域の人材と積極的に連携を図るよう努めること。

(組み合わせ)

| | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問7 次の文は、「全国保育士会倫理綱領」の一部である。(A) ~ (C) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

私たちは、職場におけるチームワークや、関係する他の専門機関との連携を大切にします。また、自らの行う保育について、常に子どもの視点に立って自己評価を行い、保育の(A)の向上を図ります。

私たちは、日々の保育や子育て支援の活動を通して子どものニーズを受けとめ、子どもの立場に立ってそれを(B)します。また、子育てをしているすべての保護者のニーズを受けとめ、それを(B)していくことも重要な役割と考え、行動します。

私たちは、地域の人々や関係機関とともに子育てを支援し、そのネットワークにより、地域で子どもを育てる(C)づくりに努めます。

(組み合わせ)

| | A | B | C |
|---|----|----|----|
| 1 | 技術 | 伝達 | 社会 |
| 2 | 技術 | 代弁 | 環境 |
| 3 | 質 | 伝達 | 社会 |
| 4 | 質 | 代弁 | 環境 |
| 5 | 質 | 伝達 | 環境 |

問8 次の文は、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」1「乳児保育に関わるねらい及び内容」(3)「保育の実施に関わる配慮事項」の一部である。(A)～(D)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 一人一人の子どもの生育歴の違いに留意しつつ、欲求を適切に満たし、(A)の保育士が応答的に関わるように努めること。
- ・ 保護者との信頼関係を築きながら保育を進めるとともに、保護者からの(B)に応じ、保護者への支援に努めていくこと。
- ・ 担当の保育士が替わる場合には、子どものそれまでの(C)や(D)に留意し、職員間で協力して対応すること。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|----|----|------|-------|
| 1 | 担当 | 要望 | 生育歴 | 発達過程 |
| 2 | 担当 | 相談 | 生育歴 | 発達過程 |
| 3 | 特定 | 相談 | 家庭環境 | 心身の機能 |
| 4 | 特定 | 要望 | 家庭環境 | 心身の機能 |
| 5 | 特定 | 相談 | 生育歴 | 発達過程 |

問9 次の文のうち、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」2「1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容」(1)「基本的事項」の一部として(a)～(d)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

この時期においては、歩き始めから、歩く、走る、跳ぶなどへと、基本的な運動機能が次第に発達し、(a) 生活習慣の自立のための身体的機能も整うようになる。つまむ、めくるなどの指先の機能も発達し、食事、衣類の着脱なども、保育士等の援助の下で自分で行うようになる。(b) 発声も明瞭になり、語彙も増加し、自分の意思や欲求を言葉で表出できるようになる。このように自分でできることが増えてくる時期であることから、保育士等は、子どもの生活の安定を図りながら、自分でしようとする気持ちを尊重し、温かく(c) 援助するとともに、愛情豊かに(d) 積極的に関わる必要がある。

(組み合わせ)

| | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | ○ | × | × |

問10 次の文のうち、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」3「3歳以上児の保育に関するねらい及び内容」に照らして、不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 乳児保育、3歳未満児の保育と同様に、3歳以上児の保育に関するねらい及び内容も、養護に関する基本的事項と一体となって展開するものである。
- 2 乳児から3歳未満までの時期における様々な経験とそれを通しての育ちの姿を踏まえて、3歳以上児のねらい及び内容を具体的な指導計画の中に位置付け、実践するようにする。
- 3 この時期の子どもは、仲間の一員として役割を分担しながら、協同して粘り強く取り組むようになる。協力してやり遂げ、達成感を味わうことは、子どもに自信や自己肯定感を育むことにもなる。
- 4 3歳以上児は身辺自立が進むため、「生命の保持」及び「情緒の安定」に関わる保育の内容が、子ども一人一人に応じて保障される必要性は徐々に減っていく。しかし、別の保育所等から転入する場合には、一人一人の状態に応じた丁寧な関わりが必要となる。
- 5 個の成長と集団としての活動の充実を図ることを基本とし、子どもが身近な環境に主体的に関わる具体的な活動を通して、各領域の内容を総合的に展開し、幼児期にふさわしい経験と学びを生み出すように援助することが必要である。

問11 次の【Ⅰ群】の「保育所保育指針」第1章「総則」2「養護に関する基本的事項」の(2)「養護に関わるねらい及び内容」の項目名と、【Ⅱ群】の記述を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 生命の保持 — ねらい
- B 生命の保持 — 内容
- C 情緒の安定 — ねらい
- D 情緒の安定 — 内容

【Ⅱ群】

- ア 一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。
- イ 食事、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にすることなどについて、子どもが意欲的に生活できるよう適切に援助する。
- ウ 一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら、応答的な触れ合いや言葉がけを行う。
- エ 一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | イ | ウ | ア | エ |
| 2 | イ | エ | ウ | ア |
| 3 | ウ | ア | エ | イ |
| 4 | エ | イ | ア | ウ |
| 5 | エ | ウ | イ | ア |

問12 次の文のうち、「保育所保育指針」第1章「総則」1「保育所保育に関する基本原則」(2)「保育の目標」に照らして、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保護者に対する援助は、保護者や家庭の状況を考慮し、常に保護者の最善の利益を考慮して取り組む必要がある。
- B 保育の目標は、保育所全体で共有するのではなく、一人一人の保育士等が自分自身の保育観、子ども観と照らし合わせながら深く理解し、保育に取り組んでいくことが求められる。
- C 保育所は、それぞれに特色や保育方針があるが、全ての保育所に共通する保育の目標の一つは、子どもの保育を通して、「子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う」ことである。
- D 教育に関わる保育の目標は、「学校教育法」に規定されている幼稚園の目標と共通のものである。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問13 次の文のうち、「保育所保育指針」第1章「総則」1「保育所保育に関する基本原則」(3)「保育の方法」の一部として、(a)～(d)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 子どもの生活のリズムを大切にし、健康、安全で(a) 自立した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えること。
- ・ 子どもが自発的・(b) 積極的に関われるような環境を構成し、子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にすること。特に、乳幼児期に(c) ふさわしい体験が得られるように、生活や遊びを通して総合的に保育すること。
- ・ 一人一人の保護者の状況やその意向を理解、受容し、それぞれの(d) 親子関係や家庭生活等に配慮しながら、様々な機会をとらえ、適切に援助すること。

(組み合わせ)

| | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問14 次の文のうち、「保育所保育指針」第1章「総則」3「保育の計画及び評価」(3)「指導計画の展開」に照らして、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子どもに対する保育士等の援助は多岐にわたる。子どもにとって居心地がよく、生活の見通しがもちやすいように環境を整えたり、集中して遊び込めるように時間のゆとりをとるようにしたりするなど、場や生活の流れを調整することも援助である。
- B 記録をする際には、子どもに焦点を当てて、生活や遊びの時の様子を思い返してみる視点と、一日の保育やある期間の保育について、保育士等が自分の設定したねらいや内容・環境の構成・関わりなどが適切であったかといったことを見直してみる視点がある。
- C 指導計画を作成した際の保育士等の予想した姿とは異なる姿が見られた時は、子どもの気づきや感動を尊重し、子どもの発想を刺激するような一言を添えたりするなどして、計画した展開に無理なく戻れるようにすることが重要である。
- D 子どもの姿を記録することは、保育士等が自身の計画に基づいて実践したことを客観化することであり、記録という行為を通して、保育中には気付かなかったことや意識していなかったことに改めて気付くこともある。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問15 次の文は、諸外国の保育の歴史に関する記述である。A～Cを年代の古い順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

A モンテッソーリ (Montessori, M.) が、ローマのスラム街に「子どもの家 (Casa dei Bambini)」を開設する。

B コメニウス (Comenius, J. A.) が『世界図絵』を著す。

C オーエン (Owen, R.) が、自らの経営するニュー・ラナークの工場内に「性格形成学院」を開設し、その中に「幼児学校 (Infant School)」を置く。

(組み合わせ)

1 A→C→B

2 B→A→C

3 B→C→A

4 C→A→B

5 C→B→A

問16 次の【Ⅰ群】の事項と、【Ⅱ群】の記述を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 「児童福祉施設最低基準」
- B 「保育要領」
- C 「幼稚園保育及設備規定」
- D 「幼稚園令」

【Ⅱ群】

- ア 保育内容を楽しい幼児の経験と位置づけ、具体的な保育内容として12項目が挙げられた。
- イ 日本ではじめての、施設保育にかかわる法的基準であり、保育内容は遊嬉（戯）、唱歌、談話、手技の4項目が規定された。
- ウ 1926（大正15）年に勅令として公布された。保育の内容は、その施行規則によって、遊戯、唱歌、観察、談話、手技等の5項目が挙げられた。
- エ 1948（昭和23）年に制定され、制定当時は保育内容として、健康状態の観察、服装等の異常の有無についての検査、自由遊び及び昼寝等が挙げられた。

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | イ | ア | ウ | エ |
| 2 | イ | エ | ウ | ア |
| 3 | ウ | エ | イ | ア |
| 4 | エ | ア | イ | ウ |
| 5 | エ | ウ | ア | イ |

問17 次の文は、「こども基本法」に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 「こども基本法」におけるこども政策を総合的に推進するため、「こども大綱」が閣議決定された。
- 2 「こども基本法」におけるこども政策の基本理念の一つとして、全てのこどもが大切にされ、基本的な人権が守られ、差別されないことが掲げられている。
- 3 「こども基本法」におけるこども施策の策定等に当たっては、当該こども施策の対象となるこども等の意見を反映させるために必要な措置を講ずることが国や地方公共団体に対して義務付けられている。
- 4 「こども基本法」における「こども」とは、満18歳に満たない者をいう。
- 5 「こども基本法」における「こども施策」の一つとして、家庭における養育環境その他のこどもの養育環境の整備が掲げられている。

問18 次の文のうち、「保育所保育指針」の特徴に関する記述として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所保育指針に規定されている事項は、その内容によって、①努力義務が課されるもの、②基本原則にとどめ、各保育所の創意や裁量を許容するもの、③各保育所での取組が奨励されることや保育の実施上の配慮にとどまるものなどに区別される。
- B 平成29年の改定において、職員の資質向上について、研修の実施体制等が示された。
- C 平成29年の改定において、子どもの育ちをめぐる環境の変化を踏まえて、保育の目標や安全な保育環境の確保等を中心に記載内容を見直し、更なる充実を図った。
- D 総則には、保育所保育に関する基本原則、養護に関する基本的事項、保育の計画及び評価、幼児教育を行う施設として共有すべき事項が示されている。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問19 次の文は、「発達障害者支援法」の一部である。(A) ～ (D) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

(A) は、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第24条第1項の規定により (B) における保育を行う場合又は同条第2項の規定による必要な保育を確保するための措置を講じる場合は、発達障害児の健全な発達が他の児童と (C) 生活することを通じて図られるよう適切な (D) をするものとする。

【語群】

| | | |
|--------------|-------|--------|
| ア 配慮 | イ 保育所 | ウ 共に |
| エ 児童発達支援センター | オ 市町村 | カ 保育士等 |
| キ 別々に | ク 連携 | |

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | オ | イ | ウ | ア |
| 2 | オ | エ | ウ | ク |
| 3 | カ | イ | ウ | ア |
| 4 | カ | イ | キ | ア |
| 5 | カ | エ | キ | ク |

問20 次の文は、「保育所保育指針」第4章「子育て支援」2「保育所を利用している保護者に対する子育て支援」の一部である。(A)～(D)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 日常の保育に関連した様々な機会を活用し子どもの日々の様子の伝達や収集、保育所保育の(A)の説明などを通じて、保護者との(B)を図るよう努めること。
- ・ 子どもに障害や発達上の課題が見られる場合には、市町村や(C)と連携及び協力を図りつつ、保護者に対する(D)を行うよう努めること。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|-----|------|------|-------|
| 1 | 決まり | 連携 | 関係機関 | 指導 |
| 2 | 意図 | 相互理解 | 専門家 | 個別の支援 |
| 3 | 現状 | 連携 | 関係機関 | 指導 |
| 4 | 意図 | 相互理解 | 関係機関 | 個別の支援 |
| 5 | 現状 | 連携 | 専門家 | 個別の支援 |